



小国中だより

小国町立小国中学校
令和2年6月25日
文責 八木幸夫

言葉を大切にすること 人を大切にすること

6月21日(火)の全校集会の冒頭、生徒会長の舟山颯太君から「朝のあいさつ運動に立っていると、僕達に自分からあいさつしてくれる人が増えてきて本当に嬉しく思っています。」という呼びかけがありました。全校生から拍手がおこり、気持ちがほっこりしました。確かに、校内を飛びかう小国中生のあいさつは例年にもまして元気がいい。3年2組の船山溜斗君は、立ち止まって「おはようございます。」とあいさつしてくれる。そんな小国中生も増えた気がします。生徒達のあいさつは魔法だなと思います。生徒達のあいさつには、家族を元気にする力、地域の人たちに勇気を与える魔法の力があります。これも言葉の力、人を大切にすることの力。

集会でのリーダーの呼びかけに、力強い「はい!!」という返事が返ってくる。先生からの呼びかけに、力強い「はい!!」という返事が返ってくる。強い意志を感じる。その力強さに小国中生の意志を感じる。「よし、やるぞ!」という強い思いを感じる。特に2, 3年生の返事が気持ちいい。「はい。」という返事は、最も短い決意を表す言葉です。自分の意志や思いを相手に伝える最も短く、そして力強い言葉です。これも言葉の力、思いや意志を伝える言葉の力。

先日ある職員が校長室に来て、「保護者のいじめアンケートに職員の言葉遣いのことが書かれていました。自分のことだと思います・・・。」と私に切り出しました。保護者の皆さんにお願いしたいいじめアンケートに、「先生の心ない言葉が子ども達を傷つけている。」と言う内容の意見が数件寄せられており、そのことで自分を振り返り、話しに来てくれたのでした。

発した本人にとっては悪意のない言葉であっても、声を掛けられた人、それを周りで聞いていた人にとってはどうなのか・・・。言葉遣いだけでなく、子ども達を見る目線、子ども達との関わり方などについて話し合いました。話し合う中で、私自身もあらためて、言葉を大切にすることが、人を大切にすることにつながることを確認できたような気がしました。失敗や課題はあってもそれを振り返って、自分から話しに来てくれた職員を嬉しく思いました。そして、「信頼を取り戻せるよう、また一緒に頑張ろう。」と声を掛けました。

その後、職員の打ち合わせの機会に、子ども達を肯定的に見る目を持ち、言葉を大切にしたい関係づくりに努力するよう職員全員であらためて確認しました。まだまだ自分は未熟であることを自覚し、謙虚に努力することを自分自身にも決意しました。

私達が話す言葉は、自分の思いや考えを相手に伝



え、相手の思いや考えを理解する道具です。TPO（時、場所、場合）に配慮しながら、話す相手の気持ちを考えながら話すことで、人と人との関わりが優しいものになり、互いを大切にしながら生活していけるようになります。私達は、多くの人と関わりながら生活しています。これからも数え切れないほど多くの人と出会い、関わりながら生活していきます。言葉を大切にすることは相手を大切にすることです。相手を大切にすることは、自分が相手に大切にされることにつながります。

小国小・小国中合同活動



6月23日（火）、25日（木）の2回に分け、本校生徒会役員が小国小学校の集会に参加し、「あいさつ」「合唱」「ボランティア」の合同活動の呼びかけを行いました。お互いにねらいを共有しながら、「小国を元気にする小国の子ども」を目指して、それぞれの学校で活動を積み上げていきます。

保護者、地域の皆様にもご協力をいただきますようお願いいたします。

小国を元気にする小国の子ども

小国小学校・小国中学校合同活動

ねらい

- (1) 小中の連携を深める。
- (2) 普段支えていただいている地域に感謝し地域を元気にする活動に取り組む。

具体的な取り組み

(1) あいさつの取り組み

- ① 小中合同あいさつ運動の実施。
- ② 登下校時、地域の方々やバスの運転手さん等に元気にあいさつする。

(2) 合唱の取り組み

- ① 小国町民歌をみんなで練習する。
- ② 合唱交流会（10月実施予定）で小国町民歌を披露する。（合唱交流会の案内を地域の皆さんに差し上げる予定です。）

(3) ボランティア活動の取り組み

- ① ボトルキャップ回収活動を小中合同で実施する。
- ② 役場の回収ボランティアに小中合同で協力する。

